

看護学科 キャリア教育・実践的職業教育

1. キャリア教育への取り組み

1年次は、看護の基礎知識・技術を習得します。2年次は専門的知識・技術を学び、その理論と実践を関連づけます。3年次は対象の個別性と変化に応じて看護過程を応用展開できる能力を養います。

3年間で看護の基本から現場に適応できる技術・知識、社会人としての基礎やコミュニケーションまで、専門的・体系的・段階的に積み上げながら学びます。また、机上だけでは得られないこともさまざまなアプローチで、理解するまでしっかりサポートするカリキュラム構成となっています。基礎から始めて、専門、そして応用実践へ導きます。

2. 実習・実技への取り組み

臨地（病院など）に数人のグループに分かれ出向きます。現場の看護師や教員の指導を受けながら実習を進めます。

1年次は、対象を理解し、個々に合わせた日常生活の援助を学びます。

2年次は、基礎的な問題解決の技術（看護過程）を用いて、根拠に基づいた援助を患者に提供する方法を学びます。

3年次は、講義で学んだ理論や看護方法を臨地実習の場で体験し、その実践を通して知識の総合力・応用力・問題解決能力を高め、いろいろな人間関係や個別的看護の中で研究的態度・自己の看護観を養い、また保健医療について総合的に理解し、人間関係に基づいた看護を行う能力を養うことを学びます。さらに統合実習として、知識、技術、態度を統合し、各健康レベルの対象に応じた看護ができる基礎的能力を養う。また、医療チームの一員としての役割を理解し、複数患者の受け持ちを通して援助の実際を体験し、看護実践能力を高め、看護師としての自覚と責任の重要性を学びます。

3. 資格取得への取り組み

1年次は、入学当初より国試の概要や合格基準を基に勉強法などを講義し、国試への意識とモチベーションを高めます。また解剖と病態をつなげて講義を行い、分野をつなげて学習する大切さを学びます。

2年次は人体・疾病の分野からさらに発展して、成人看護学へつながるように講義を展開しています。また模試の振り返りやドリルを用いた国家試験対策の自己学習に取り組んでいます。

3年次では、今まで積み重ねてきた机上の学びに加えて実習を通して習得した知識技術を融合させます。これらを基に11月中旬より試験直前の総仕上げとして、国家試験の予想問題に取り組み、重要部分に的を絞った解説講義を実施しています。取りこぼしのできない必須問題対策の講義も行い、万全の準備をして合格を目指します。

4. 就職支援への取り組み

入学前よりOC・入試説明会・病院説明会などの機会に病院奨学金の概要をお伝えします。また入学後も希望する病院への見学や奨学金受給のサポートを担当者が取り次ぎます。3年次には就職の決まっていない学生に対しても本人の希望も聞きながら社会人としてのスタート切れるよう100%の就職をサポートしています。